

※解答はすべて解答用紙に記入すること。問題用紙は持ち帰ること。
持ち込み品は全て可。

ただし、携帯電話はかばんの中にしておくこと(時計、字引としての使用は認めない)。

問題は大きく1・2の二題である。1は二問につき一行ずつ使って答えよ。

次週は答案を返却するので必ず出席すること。

1 つぎの空欄①～⑮にあてはまる語または記号を答えよ。「」が付いているところには音声記号が入る。

(1) 日本語の子音は①点(調音点ともいう)、構音法、②の有無によって定義される。日本語の構音法は吸気を用いずすべて③気の④の仕方によって音の差を生じさせる。たとえば「b」と「w」であれば、⑤のほうが両唇の閉鎖の④の仕方が大きくなっている。

(2) 日本語を数えるときは⑥(またはモーラ)という単位を用いる。⑥はその音を作るのに必要な⑦を数えている。一方、一般的に用いられる音節は⑧によるまとまりを示すものである。たとえば、終点(しゅうてん)は⑨⑥⑩音節の語である。

(3) 動詞「アガル」と「ノボル」の意味の違いは「アガル」が到達点に注目した直線的であるのに対し「ノボル」が経過点に注目した⑪的である差によっている。この関係を⑫語の関係にあるという。意味の違いを明らかにするにはどちらかできしか使えない⑬制限による分析を行う。例えば「いっせいに手がアガル」は使えるが「いっせいに手がノボル」は使えないということである。

(4) 我が国現存最古の辞書は空海の『⑭』である。これと源順の『和名類聚抄』とをモデルとした書名をもつ漢字と訓を示した古辞書に『⑮』がある。

2 「おぼけ」のような現実世界に存在しないものが語として存在するのはなぜか。意味のあり方について「語」「形式」「意味」「指示対象」の四つを用いて概念図を書き、その図に基づいて理由を説明せよ。